

日本学術会議若手アカデミー会議（第26期・第1回）議事要旨

1. 日時：令和5年12月18日（月）13:03～15:00、15:10～15:32

2. 会場：日本学術会議6-C(1)(2)会議室及びオンライン会議併用

3. 出席者：（敬称略）40名

現地（8名）：岩崎、小野、川口、坂元、標葉、藤井、藤岡、安田

オンライン（32名）：三枝副会長、石川、大西、緒形、岡田、小川、河岡、川端、久保、久保田、癸生川、河内山、坂井、櫻田、實藤、清水、菅野、杉本、田井、田川、武田（秀太郎）、樽野、寺田、富永、仲上、中谷、廣野、堀、前川、南澤、門田、山内

（事務局：根来、若尾、上野）

4. 議事

代表選任までの間の議長として、前期（第25期）代表であった岩崎渉会員が選任された。

1) 若手アカデミーの趣旨説明及び前期の活動の紹介

若手アカデミーの趣旨、前期の活動状況及び前期の分科会の活動状況について説明がなされた。

2) 自己紹介

各会員及び事務局担当者より自己紹介があった。

3) 代表の互選について

投票前の推薦及び1回の投票の結果、小野悠会員が代表に選任された。

4) 代表による副代表、幹事の指名

小野代表より、副代表に標葉隆馬会員、幹事に南澤孝太会員、岩崎渉会員が指名され、承認された。

5) 若手アカデミーの今後の運営について

若手アカデミーにおいて今後検討されることとなる分科会の設置について意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

○地域活性化に向けた社会連携分科会の今期の活動内容は、前期の内容に縛

られることなく活動できるのか。

- 研究者のワークライフバランスをクローズアップして取り扱う個別の分科会を立てるのもメッセージ性の面でよいのではないか。
- 未来の学術のあり方を議論するような分科会を立ち上げる予定、または過去にそうした分科会を立ち上げたことはあるか。
- 学術会議全体の意思の表出などを若手アカデミーの視点からレビューするような分科会があってもよいのではないか。
- 前 25 期の見解の実装のために特化した分科会を立ち上げてはどうか。

6) その他

- ① 国際会議への出席のための代表選出の必要について、説明があった。
- ② 会議主催時の注意事項について連絡があった。
- ③ 次回会議は、年明け 1 月 10 日（水）に行う旨の連絡があった。

以上